



学習道具

健康・安全

学び

みどりっ子学習ってどんなもの？

家庭で行う自主学習のことです。自分にとって必要な学習を、自分で決めて、自分のペースで学んでいきます。

1年生は、自分で決めるのが難しい子も多いので、宿題を出します。2年生以上は徐々に宿題の量を減らし、みどりっ子カレンダーに自分で計画して、進めていきます。学習したノートなどは、カレンダーと一緒に、週の初めに提出します。

困った時は、担任に相談してください。

朝読書は何のためにあるの？

朝の爽やかな教室で、子どもたちも先生も心を整えて1日をスタートするために朝読書があります。自分の家から持ってきた本でも、図書館で借りてきた本でもよいです。

先生やボランティアの方が読み聞かせをする以外は、一人で読書をするようになります。想像力を働かせて読むために、文字の本を読むことをお勧めします。



筆箱の中の持ち物は何？

筆箱の中身の目安です。

- 鉛筆5本程度（毎日削りましょう）
- 赤鉛筆（赤ボールペン）：1本
- 青鉛筆（青ボールペン）：1本
- 消しゴム：1個
- 15cm程度の定規（2年生より・折りたためないもの）
- 油性ネームペン：1本（低学年は道具袋）

※小学校では、鉛筆を正しく持ち、筆圧をコントロールしながら文字を書く指導をしているので、シャープペンシルを使用しないことにしています。

帰宅時刻は決まっているの？

放課後は、元気に友達と遊んでほしいです。校区には緑ヶ丘公園、伏見公園をはじめ、たくさんの公園があるので、ぜひ楽しく遊んでください。

遅くても

4～10月：17時まで
11月～3月：16時30分まで



に帰宅しましょう。行き先も忘れずにお家の人に伝えてくださいね。

生活

登校時刻は何時ですか？

8:10～8:25
（8:10に玄関開錠）

※欠席や遅刻の連絡は電話または、すぐーるを御活用ください。ただし、**8:10を過ぎてからは**電話で連絡をお願いします。
※欠席の連絡がなく登校していない場合、学校から緊急連絡先に連絡いたします。
※安全面から**児童だけの早退はできません。**

お土産・記念品は渡していいの？

本校では、学級のお友達に旅行等の土産を渡したり、転出時に記念品を渡したりすることは、御遠慮いただいております。

食物アレルギーの観点からも、御協力をよろしくお願いします。

ノートの規格は決まっているの？

書きやすさや使いやすさを考えて、学年ごとに決まっています。

	国語・道徳	算数	社会・理科
1年生(入学)	10マス 21mm	14マス 15mm	
1年生(後半)	15マス 15mm 十字リーダー入り	十字リーダー入り	
2年生		17マス	
3年生	12mmマス 18×12	10mm方眼	10mm方眼
4年生	10mm方眼 5mmリーダー入り	5mmリーダー入り	5mm
5年生	10mm方眼 5mmリーダー入り		リーダー入り
6年生	10mm方眼 5mmリーダー入り		

悩みや心配は誰に相談できるの？

担任の先生に伝えるか、直接伝えにくい場合は、chromebookで行うシャボテンを使って教えてください。秘密は守ったうえで一緒に考えていきましょう。

- ・学年の先生や担任外の先生
- ・保健室の先生
- ・スクールカウンセラー

も力になります。

スクールカウンセラーは、月2回程度来校します。お家の人の子育てに関する悩みについても相談できますので、いつでも学校担当まで連絡してください。

体育

体育の時にはどんな服装？

体を動かしやすい服装を心掛けてください。腕や足が曲げ伸ばししやすいジャージ等のスポーツウェアが望ましいです。

また、体育の学習や休み時間に体を動かして遊ぶときは「カラー帽子」をかぶることになっています。転んだときに、大切な頭を守ってもらうためです。



水泳学習の持ち物を教えて！

水泳学習は、子どもたちの安全を第一に考えて実施します。子どもたちの体調をしっかり確認します。御家庭でも、持ち物を忘れないように声掛けをお願いします。



【水泳学習の持ち物】

- 水着 水泳帽 バスタオル
- バスタオルを入れるビニル袋
- 水泳バッグ ゴーグル（必要な人）
- 水泳学習カード（捺印を忘れずに！）

「おくべん」してもいいの？

「おくべん」とは、持ち帰る必要のない教科書類を学校に置く取組です。全学年が対象です。

【毎日持ち帰るもの】

- ・国語と算数の教科書
- ・各教科のノート類
- ・筆箱、プリントを入れるファイル

その他のものについては

- ①先生からの指示で持ち帰る。
- ②お家の人との相談で持ち帰る。
- ③自分の判断で持ち帰る。

だんだんと自分で決める力を付けていきましょう。



水筒は持ってきてもいいの？

熱中症や感染症対策のために、必要であると保護者の方が判断する場合、持ってくることはできます。

水筒の中身についても、水分補給と体調管理の観点から御家庭で判断してください。

水筒は、壊れやすいもの、持ちにくい物は避け、安全面や衛生面について御配慮ください。記名を忘れずに。

